

○ 土地改良事業等請負工事積算基準等の運用について（平成 13 年 3 月 22 日 12 農振第 1686 号農村振興局整備部長通知）新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																	
IV. 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項	IV. 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項																																																	
7. 管水路工	7. 管水路工																																																	
[削る。]	<p><u>⑤ ダクタイル鋳鉄管機械布設</u></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ALW管を布設する場合の参考となる歩掛を示されたい。</p> <p>施工歩掛は、「標準歩掛7. 管水路工⑤ダクタイル鋳鉄管機械布設」のT形に準じるものとする。 なお、機種を選定にあたっては、次表によられたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管径(mm)</th> <th colspan="3">K形・T形</th> <th colspan="2">ALW形</th> </tr> <tr> <th>1～2.5種</th> <th>3～4.5種</th> <th>5種</th> <th>DC, DD種</th> <th>AL1種 AL2種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300未満</td> <td colspan="3" rowspan="9">バックホウ(クレーン機能付) 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³) 2.9t吊</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">=</td> <td rowspan="9" style="width: 100px;"></td> </tr> <tr><td>300</td></tr> <tr><td>350</td></tr> <tr><td>400</td></tr> <tr><td>450</td></tr> <tr><td>500</td></tr> <tr><td>600</td></tr> <tr><td>700</td></tr> <tr><td>800</td></tr> <tr> <td>900</td> <td colspan="3" rowspan="10">ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t吊</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">=</td> <td rowspan="10" style="width: 100px;"></td> </tr> <tr><td>1000</td></tr> <tr><td>1100</td></tr> <tr><td>1200</td></tr> <tr><td>1350</td></tr> <tr><td>1500</td></tr> <tr><td>1600(4m)</td></tr> <tr><td>1600(5m)</td></tr> <tr><td>1650(4m)</td></tr> <tr><td>1650(5m)</td></tr> <tr> <td>1800(4m)</td> <td colspan="3" rowspan="4">①</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">=</td> <td rowspan="4" style="width: 100px;"></td> </tr> <tr><td>1800(5m)</td></tr> <tr><td>2000(4m)</td></tr> <tr><td>2000(5m)</td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 150px;">①ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 50t吊</p>	管径(mm)	K形・T形			ALW形		1～2.5種	3～4.5種	5種	DC, DD種	AL1種 AL2種	300未満	バックホウ(クレーン機能付) 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊			=		300	350	400	450	500	600	700	800	900	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t吊			=		1000	1100	1200	1350	1500	1600(4m)	1600(5m)	1650(4m)	1650(5m)	1800(4m)	①			=		1800(5m)	2000(4m)	2000(5m)
管径(mm)	K形・T形			ALW形																																														
	1～2.5種	3～4.5種	5種	DC, DD種	AL1種 AL2種																																													
300未満	バックホウ(クレーン機能付) 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊			=																																														
300																																																		
350																																																		
400																																																		
450																																																		
500																																																		
600																																																		
700																																																		
800																																																		
900	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t吊			=																																														
1000																																																		
1100																																																		
1200																																																		
1350																																																		
1500																																																		
1600(4m)																																																		
1600(5m)																																																		
1650(4m)																																																		
1650(5m)																																																		
1800(4m)	①			=																																														
1800(5m)																																																		
2000(4m)																																																		
2000(5m)																																																		
⑥・⑦ [略]	<p>(注) 1. バックホウ(クレーン機能付)及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. バックホウ(クレーン機能付)は、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格に準拠した機械である。</p> <p>⑥・⑦ [略]</p>																																																	

11. トンネル工

① 岩トンネル（レッグ工法）

1. [略]

5. [略]

7. 覆工コンクリート

スライディングフォームによりコンクリートを打設する場合の標準的な養生時間を示されたい。

[略]

鋼製スライディングフォームの損料はどのように算定するのか。

鋼製スライディングフォーム（標準馬蹄形及び3Rホロ形）損料					
断面形状	内空半径 r m	質量 (参考) t/基	基礎価格 千円/基	損料	摘要
標準馬蹄形	0.9	<u>22.4</u>	<u>20,000</u>	施工 1m 当り損料 $= (0.00024 + 0.48/L) \times P$ P: スライディングフォームの基礎価格(円) L: 巻立施工延長(m)	フォーム長 12m/基に適用
	1.0	<u>23.0</u>	<u>20,500</u>		
	1.1	<u>23.6</u>	<u>21,000</u>		
	1.2	<u>24.2</u>	<u>21,400</u>		
	1.3	<u>25.8</u>	<u>22,400</u>		
3Rホロ形	0.9	<u>20.4</u>	<u>19,900</u>		
	1.0	<u>21.0</u>	<u>20,400</u>		
	1.1	<u>21.6</u>	<u>20,900</u>		
	1.2	<u>22.2</u>	<u>21,400</u>		
	1.3	<u>22.8</u>	<u>21,900</u>		

(注) [略]

②・③ [略]

11. トンネル工

① 岩トンネル（レッグ工法）

1. [略]

5. [略]

7. 覆工コンクリート

スライディングフォームによりコンクリートを打設する場合の標準的な養生時間を示されたい。

[略]

鋼製スライディングフォームの損料はどのように算定するのか。

鋼製スライディングフォーム（標準馬蹄形及び3Rホロ形）損料					
断面形状	内空半径 r m	質量 (参考) t/基	基礎価格 千円/基	損料	摘要
標準馬蹄形	0.9	<u>17.4</u>	<u>18,000</u>	施工 1m 当り損料 $= (0.00024 + 0.48/L) \times P$ P: スライディングフォームの基礎価格(円) L: 巻立施工延長(m)	フォーム長 12m/基に適用
	1.0	<u>18.0</u>	<u>18,400</u>		
	1.1	<u>18.6</u>	<u>18,900</u>		
	1.2	<u>19.2</u>	<u>19,400</u>		
	1.3	<u>19.8</u>	<u>19,800</u>		
3Rホロ形	0.9	<u>19.4</u>	<u>18,100</u>		
	1.0	<u>20.0</u>	<u>18,600</u>		
	1.1	<u>20.6</u>	<u>19,100</u>		
	1.2	<u>21.2</u>	<u>19,500</u>		
	1.3	<u>21.8</u>	<u>20,000</u>		

(注) [略]

②・③ [略]

15. 仮設工

⑦ [略]

⑰ 油圧圧入引抜工

5-2 圧入作業（継施工）

油圧式杭圧入引抜機による圧入作業において、継ぎ施工となる場合の継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費とは、溶接棒費用、補強板材料費及び開先加工費である。
なお、継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費

鋼矢板型式	継ぎ施工費（円／箇所）
Ⅱ型	<u>8,120</u>
Ⅲ型	<u>8,520</u>
Ⅳ型	<u>8,810</u>
V _L 型	<u>12,000</u>
VI _L 型	<u>12,300</u>
Ⅱ _w 型	<u>9,720</u>
Ⅲ _w 型	<u>9,980</u>
Ⅳ _w 型	<u>10,500</u>

⑳・㉑ [略]

15. 仮設工

⑦ [略]

⑰ 油圧圧入引抜工

5-2 圧入作業（継施工）

油圧式杭圧入引抜機による圧入作業において、継ぎ施工となる場合の継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費とは、溶接棒費用、補強板材料費及び開先加工費である。
なお、継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費

鋼矢板型式	継ぎ施工費（円／箇所）
Ⅱ型	<u>7,970</u>
Ⅲ型	<u>8,330</u>
Ⅳ型	<u>8,450</u>
V _L 型	<u>11,600</u>
VI _L 型	<u>11,900</u>
Ⅱ _w 型	<u>9,390</u>
Ⅲ _w 型	<u>9,630</u>
Ⅳ _w 型	<u>10,100</u>

⑳・㉑ [略]

20. その他

①～⑩ [略]

⑪ バイブロハンマエ（継施工）

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費		継ぎ施工費（円／箇所）
鋼矢板型式		
鋼	Ⅱ型	<u>8,120</u>
	Ⅲ型	<u>8,520</u>
	Ⅳ型	<u>8,810</u>
	V _L 型	<u>12,000</u>
矢	Ⅱ _w 型	<u>9,720</u>
	Ⅲ _w 型	<u>9,980</u>
	Ⅳ _w 型	<u>10,500</u>
板	10H型（ハット）	<u>15,700</u>
	25H型（ハット）	<u>16,800</u>
H 形 鋼	H250	<u>28,800</u>
	H300	<u>36,300</u>
	H350	<u>50,900</u>
	H400	<u>73,400</u>

（注） [略]

⑫ 油圧圧入引抜工（ハット形鋼矢板）

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費		継ぎ施工費（円／箇所）
鋼矢板型式		
10H型（ハット）		<u>15,700</u>
25H型（ハット）		<u>16,800</u>

（注） [略]

⑬ [略]

⑭ ダクタイトル鑄鉄管機械布設（たて込み簡易土留）

たて込み簡易土留区間において、ALW管を布設する場合の参考となる歩掛を示されたい。

20. その他

①～⑩ [略]

⑪ バイブロハンマエ（継施工）

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費		継ぎ施工費（円／箇所）
鋼矢板型式		
鋼	Ⅱ型	<u>7,970</u>
	Ⅲ型	<u>8,330</u>
	Ⅳ型	<u>8,450</u>
	V _L 型	<u>11,600</u>
矢	Ⅱ _w 型	<u>9,390</u>
	Ⅲ _w 型	<u>9,630</u>
	Ⅳ _w 型	<u>10,100</u>
板	10H型（ハット）	<u>15,100</u>
	25H型（ハット）	<u>16,100</u>
H 形 鋼	H250	<u>26,100</u>
	H300	<u>33,200</u>
	H350	<u>46,900</u>
	H400	<u>67,400</u>

（注） [略]

⑫ 油圧圧入引抜工（ハット形鋼矢板）

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については、下記のとおりとする。

継ぎ施工費		継ぎ施工費（円／箇所）
鋼矢板型式		
10H型（ハット）		<u>15,100</u>
25H型（ハット）		<u>16,100</u>

（注） [略]

⑬ [略]

⑭ ダクタイトル鑄鉄管機械布設（たて込み簡易土留）

たて込み簡易土留区間において、ALW管を布設する場合の参考となる歩掛を示されたい。

施工歩掛は、「参考歩掛6. 管水路工④ダクタイトル鋳鉄管機械布設（たて込み簡易土留）」のT形に準じるものとする。

なお、機種を選定にあたっては、次表によられたい。

管径 (mm)	K・T形			ALW形	
	1・2種	3・4種、DA種	DB～DD種	AL1種	AL2種
300 未満	バックホウ（クレーン機能付） 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9t 吊			バックホウ（クレーン機能付） 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9t 吊	
300					
350					
400					
450					
500					
600					
700	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型（第2次基準値） （油圧伸縮ジブ型） 25t 吊			ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型（第2次基準値） （油圧伸縮ジブ型） 25t 吊	
800					
900					
1,000					
1,100					
1,200					
1,350					
1,500					
1,600 (4m)					
1,600 (5m)					
1,650 (4m)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型（第2次基準値） （油圧伸縮ジブ型） 50t 吊				
1,650 (5m)					
1,800 (4m)					
1,800 (5m)					
2,000 (4m)					
2,000 (5m)					

ラフテレーンクレーン
排出ガス対策型（第2次基準値）
（油圧伸縮ジブ型） 50t 吊

(注) 1.・2. [略]

施工歩掛は、「参考歩掛6. 管水路工④ダクタイトル鋳鉄管機械布設（たて込み簡易土留）」のT形に準じるものとする。

なお、機種を選定にあたっては、次表によられたい。

管径 (mm)	K形・T形				ALW形	
	1～2.5種	3～4.5種	5種	DC, DD種	AL1種	AL2種
300 未満	バックホウ（クレーン機能付） 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 2.9t 吊				=	
300						
350						
400						
450						
500						
600						
700	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型（第2次基準値） （油圧伸縮ジブ型） 25 t 吊					
800						
900						
1,000						
1,100						
1,200						
1,350						
1,500						
1,600 (4m)						
1,600 (5m)						
1,650 (4m)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型（第2次基準値） （油圧伸縮ジブ型） 50 t 吊				=	
1,650 (5m)						
1,800 (4m)						
1,800 (5m)						
2,000 (4m)						
2,000 (5m)						

①ラフテレーンクレーン
排出ガス対策型（第2次基準値）
（油圧伸縮ジブ型） 50 t 吊

(注) 1.・2. [略]

V. 土地改良事業等請負工事機械経費算定基準の運用事項

(用語の定義)・(機械損料の積算) [略]

(機械損料の補正)

豪雪補正

豪雪地域の補正はどのような場合にどのように行うか具体例を示し説明されたい。

(1)・(2) [略]

(3)豪雪地域の補正は下記を基準として行う。

①運転時間単位で算定されている機械 (機械損料算定表の(3欄)、(4欄)が両方とも記載のある機械)

運転1時間当り損料額(指定地域損料)=

運転1時間当り損料(9欄)+供用日当り損料(11欄)×補正係数/供用日当り運転時間(t)

供用日当り運転時間(t)= 運転時間(3欄)/供用日数(5欄)

供用1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1時間当り損料(9欄)×供用日当り運転時間(t)+供用日当り損料(11欄)×補正係数

②運転日単位で算定されている機械 (機械損料算定表の(3欄)、(4欄)のうち(3欄)のみ空欄である機械)

運転1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1日当り損料(9欄)+供用日当り損料(11欄)×補正係数/運転日数率(α)

供用1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1日当り損料(9欄)×運転日数率(α)+供用日当り損料(11欄)×補正係数

運転日数率(α)=運転日数(4欄)/供用日数(5欄)

③供用日単位で算定されている機械 (機械損料算定表の(3欄)、(4欄)の両方が空欄である機械)

供用日当り損料額(指定地域損料)=供用日当り損料(11欄)×補正係数

岩石補正～ダム用機械の豪雪補正 [略]

(機械損料の算定)～(機械損料の積算) [略]

(機械経費の積算)

運転労務 [略]

燃料消費量

機械経費算定基準以外の燃料消費率を示されたい。

{ エンジンオイル、ウエス、バッテリー液、
ギヤオイル、グリス、プレーキオイル等を含む }

運転1時間当たり燃料消費率

機 械 名	規格又は区分	燃料消費率 (ℓ/kW-h)	摘 要
レーキドーザ		0.175	
トラクタ	クローラ式		
スクレープドーザ			
タイヤドーザ			
モータスクレーパ		0.163	
泥上掘削機		0.175	

V. 土地改良事業等請負工事機械経費算定基準の運用事項

(用語の定義)・(機械損料の積算) [略]

(機械損料の補正)

豪雪補正

豪雪地域の補正はどのような場合にどのように行うか具体例を示し説明されたい。

(1)・(2) [略]

(3)豪雪地域の補正は下記を基準として行う。

①運転時間単位で算定されている機械

運転1時間当り損料額(指定地域損料)=

運転1時間当り損料(9欄)+供用日当り損料(11欄)×補正係数/供用日当り運転時間(t)

供用日当り運転時間(t)= 運転時間(3欄)/供用日数(5欄)

供用1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1時間当り損料(9欄)×供用日当り運転時間(t)+供用日当り損料(11欄)×補正係数

②運転日単位で算定されている機械

運転1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1日当り損料(9欄)+供用日当り損料(11欄)×補正係数/運転日数率(α)

供用1日当り損料額(指定地域損料)=

運転1日当り損料(9欄)×運転日数率(α)+供用日当り損料(11欄)×補正係数

運転日数率(α)=運転日数(4欄)/供用日数(5欄)

③供用日単位で算定されている機械

供用日当り損料額(指定地域損料)=供用日当り損料(11欄)×補正係数

岩石補正～ダム用機械の豪雪補正 [略]

(機械損料の算定)～(機械損料の積算) [略]

(機械経費の積算)

運転労務 [略]

燃料消費量

機械経費算定基準以外の燃料消費率を示されたい。

{ エンジンオイル、ウエス、バッテリー液、
ギヤオイル、グリス、プレーキオイル等を含む }

運転1時間当たり燃料消費率

機 械 名	規格又は区分	燃料消費率 (ℓ/kW-h)	摘 要
レーキドーザ		0.175	
トラクタ	クローラ式		
スクレープドーザ			
タイヤドーザ			
モータスクレーパ		0.163	
泥上掘削機		0.175	

トレンチャ		0.152	
ダンプトラック	ガソリン	G0.071	
不整地運搬車	ホイール型	<u>0.165</u>	
[削る。]		[削る。]	
タワークレーン		0.101 E0.305 kWh/kW	
ジブクレーン			
[削る。]	[削る。]		
[削る。]	[削る。]	E0.305 kWh /kW	
工事用エレベータ			
[削る。]			
簡易ケーブルクレーン		0.108	
フォークリフト		0.037	
クローラ式	ベースマシン	0.085	
サンドパイル打機	[削る。]	[削る。]	
粉体噴射攪拌機	単軸式	E0.305 kWh/kW	
トラック式アースオーガ		0.053	
ラフテレーンクレーン装着式 アースオーガ		0.103	
アースドリル掘削機		0.093	
[削る。]		[削る。]	[削る。]
[削る。]		[削る。]	
[削る。]		[削る。]	
[削る。]		[削る。]	
[削る。]		[削る。]	
[削る。]	[削る。]	[削る。]	
汚泥吸排車		<u>0.055</u>	
ニューマチックケーソン施工機器 (潜函用ショベル)		E0.600 kWh/kW	
クーリングタワー		E0.700 kWh/kW	
シールド工事用機器	パワーユニット	E0.533 kWh/kW	
[削る。]			
[削る。]			
[削る。]		[削る。]	
[削る。]			
[削る。]			
インナーバイブレータ (自走式)		0.122	
コンクリートミキサ		E0.495 kWh/kW	
[削る。]		[削る。]	
法面締固め機		0.167	
チップスプレッダ		0.127	
アスファルトクッカ		0.164	
コンクリート横取り機		0.293	
ジョイントクリーナ		G0.174	
振動目地切機		G0.233	

トレンチャ		0.152	
ダンプトラック	ガソリン	G0.071	
不整地運搬車	ホイール型	<u>0.160</u>	
<u>シャトルカー</u>		<u>E0.560 kWh/kW</u>	
タワークレーン		0.101 E0.305 kWh/kW	
ジブクレーン			
<u>二本構リフト</u>	<u>モータウインチ</u>		
<u>一本構リフト</u>	<u>モータウインチ</u>	E0.305 kWh /kW	
工事用エレベータ			
<u>門型クレーン</u>			
簡易ケーブルクレーン		0.108	
フォークリフト		0.037	
クローラ式	ベースマシン	0.085	
サンドパイル打機	<u>装置</u>	<u>E0.305 kWh/kW</u>	
粉体噴射攪拌機	単軸式	E0.305 kWh/kW	
トラック式アースオーガ		0.053	
ラフテレーンクレーン装着式 アースオーガ		0.103	
アースドリル掘削機		0.093	
<u>リバースサーキュレーションドリル</u>		<u>E0.426kWh/kW</u>	<u>フロント装置吊上げクレーンは杭打機 (ベースマシン) を適用</u>
<u>杭打やぐら</u>		<u>E0.305kWh/kW</u>	
<u>サイクロン</u>			
<u>サクシオンポンプ</u>		<u>E0.900 kWh/kW</u>	
<u>圧送ポンプ</u>			
<u>安定液ミキサ</u>		<u>E0.533 kWh/kW</u>	
<u>泥排水処理装置</u>	<u>ベルトプレス式</u>	<u>E0.871 kWh/kW</u>	
汚泥吸排車		<u>0.053</u>	
ニューマチックケーソン施工機器 (潜函用ショベル)		E0.600 kWh/kW	
クーリングタワー		E0.700 kWh/kW	
シールド工事用機器	パワーユニット	E0.533 kWh/kW	
<u>一次分離機</u>			
<u>汚水槽</u>			
<u>粘土溶解槽</u>		<u>E0.900 kWh/kW</u>	
<u>高分子凝集剤溶解槽</u>			
<u>スラリーポンプ</u>			
インナーバイブレータ (自走式)		0.122	
コンクリートミキサ		E0.495 kWh/kW	
<u>コンクリートポンプ</u>		<u>E0.410 kWh/kW</u>	
法面締固め機		0.167	
チップスプレッダ		0.127	
アスファルトクッカ		0.164	
コンクリート横取り機		0.293	
ジョイントクリーナ		G0.174	
振動目地切機		G0.233	

区画線消去機	ハンドガイド式		
ラインマーカ	ペイント・ハンドガイド式		
	溶融自走式	0.068	
	[削る。] ペイント・車載式		
溶解槽			
排水性舗装機能回復車		0.063	
透光性遮音壁清掃車		0.040	
歩道清掃車			
排水管清掃車	CNG	C0.043m ³ /kW-h	
小型多段遠心ポンプ		E0.900 kWh/kW	
真空ポンプ		E0.827 kWh/kW	
[削る。]		[削る。]	
[削る。]			
[削る。]			
[削る。]			
両端固定式ケーブルクレーン		[削る。] 0.108	
[削る。]		[削る。]	
油圧ジャッキ		E0.533 kWh/kW	
コンクリート吹付機		E0.410 kWh/kW	
[削る。]		[削る。]	
種子吹付機		0.191	
エンジン付ミキサ		G0.162	
高圧洗浄機（工事用）		E0.900 kWh/kW G0.255	
薬剤散布機		G0.103	
[削る。]		[削る。]	
切断機		E0.305 kWh/kW	
草結束機		G0.515	
木材破砕機		0.191	
自走式破砕機			
チェンソー		G0.380ℓ/h	左記は時間当たり燃料消費量である。
ポンプ浚渫船		E1.217 kWh/kW	
除雪ドーザ	クローラ	0.166	
ロータリ除雪装置		0.141	ロータリ式88kW型 ベースマシーン(除雪ドーザ)
スライム回収機	自走式	0.055	

(注) [略]

特に定めのない日単位機械の運転1日当たり運転時間の算定方法を示されたい。

[略]

賃料により積算する機械とその計算方法を示されたい。

[略]

区画線消去機	ハンドガイド機		
ラインマーカ	ペイント・ハンドガイド		
	溶融自走式	0.068	
	ペイント・自走式 ペイント・車載式		
溶解槽			
排水性舗装機能回復車		0.063	
しゃ光性遮音壁清掃車		0.040	
歩道清掃車			
排水管清掃車	CNG	C0.043m ³ /kW-h	
小型多段遠心ポンプ		E0.900 kWh/kW	
真空ポンプ		E0.827 kWh/kW	
電動ホイスト		E0.305 kWh/kW	
チェンブロック（電動式）			
土砂排出機			
簡易やぐら			
両端固定式 ケーブルクレーン		E0.305 kWh/kW 0.108	
ムカデコンベア		E0.560 kWh/kW	
油圧ジャッキ		E0.533 kWh/kW	
コンクリート吹付機		E0.410 kWh/kW	
急結剤供給装置（吹付機用）			
種子吹付機		0.191	
エンジン付ミキサ		G0.162	
高圧洗浄機（工事用・エンジン駆動）		E0.900 kWh/kW G0.255	
薬剤散布機		0.103	
エレクトラ		E0.255 kWh/kW	
切断機		E0.305 kWh/kW	
草結束機		G0.515	
木材破砕機		0.185	
自走式破砕機			
チェンソー		G0.450 ℓ/h	左記は時間当たり燃料消費量である。
ポンプ浚渫船		E1.217 kWh/kW	
除雪ドーザ	クローラ	0.166	
ロータリ除雪装置		0.141	ロータリ式88kW型 ベースマシーン(除雪ドーザ)
スライム回収機	自走式	0.053	

(注) [略]

特に定めのない日単位機械の運転1日当たり運転時間の算定方法を示されたい。

[略]

賃料により積算する機械とその計算方法を示されたい。

[略]

VI. 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準の運用事項
 (仮設材損料の積算)

損耗率

コルゲートパイプ等を仮設資材として使用する場合の損耗率を示されたい。

仮設名	仮設材名	設置期間別1現場当たり損耗率(%)						摘要	
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満		
土 仮 足 支 防 護 柵 等	留 切 橋 場 保 護 柵 等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件
	〃	〃	60	60	70	90	100	100	B条件
	鋼材	10	10	20	30	50	70		
給 排 水 仮 廻 し 水 路 等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85		
	鋼管・ガス管	10	10	20	30	—	—		
	鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85		
	コンクリート管	50							
保 安 施 設 等	シート	30							
	ロープ	20							

備考 1.～6. [略]

(仮設材賃料の補正) [略]

VI. 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準の運用事項
 (仮設材損料の積算)

損耗率

コルゲートパイプ等を仮設資材として使用する場合の損耗率を示されたい。

仮設名	仮設材名	設置期間別1現場当たり損耗率(%)						摘要	
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満		
土 仮 足 支 防 護 柵 等	留 切 橋 場 保 護 柵 等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件
	〃	〃	50	65	80	100	100	100	B条件
	鋼材	10	10	20	30	50	70		
給 排 水 仮 廻 し 水 路 等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85		
	鋼管・ガス管	10	10	20	30	—	—		
	鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85		
	コンクリート管	50							
保 安 施 設 等	シート	30							
	ロープ	20							

備考 1.～6. [略]

(仮設材賃料の補正) [略]